

授業科目名	ソーシャルワークの理論と方法(専門)	単位数	4単位
担当教員名	堀越由紀子	担当形態	単独
実務内容 (実務家教員の場合)	社会福祉士として福祉現場の経験がある教員が、実践的視点からソーシャルワークについて解説する。		
「学位授与の方針」との関係			
DP2.共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる(専門知) DP4.個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自立的な課題探究能力を身につけ実践することができる(実践力)			
授業のテーマ及び到達目標			
この授業のテーマはミクロからマクロまでの次元で行われるソーシャルワーク実践について、「ソーシャルワークの理論と方法[共通科目]」に続く内容を体系的に理解することである。到達目標としては以下の項目が挙げられる。 ・総合的かつ包括的な支援におけるソーシャルワークの実践について理解する。 ・ソーシャルワークにおける援助関係の形成について理解する。 ・社会資源の活用・開発とソーシャルアクションについて理解する ・組織内外で行われるソーシャルワーク実践に関連する技法を理解する。			
授業の概要			
「ソーシャルワークの理論と方法[共通科目]」に続くソーシャルワークの発展内容を学習する。			
授業計画			
第1回 総合的かつ包括的な支援におけるソーシャルワークの実践 ・ソーシャルワークにおける総合的かつ包括的な支援の実践とは ・ジェネラリスト・ソーシャルワークの枠組み *テキスト②p.2-21 第2回 ソーシャルワークにおける援助関係の形成 ・多様化・複雑化した生活課題への対応のプロセスとスキル ・ソーシャルワークにおける援助関係の形成:援助関係の形成方法、 *テキスト②p.92-118 ・面接技術 *テキスト①p.186-207 ・ライフモデルのソーシャルワーク 資料は別途提示する。 第3回 家族支援の実践 *テキスト②p.22-44 第4回 ソーシャルアドミニストレーションとその遂行 *テキスト①p.302-315 第5回 他者との協力、協働のためのスキル カンファレンス、ファンリテーション、 *テキスト②p.190-220、p.277-287 第6回 他者との協力、協働のためのスキル *ネゴシエーション テキスト②p.252-263 *コンフリクトレゾリューション テキスト②p.264-276 第7回 組織内外におけるソーシャルワークとネットワーク *テキスト②p.120-149 第8回 コミュニティワーク:地域福祉実践のプロセスと課題 *テキスト①p.280-300 第9回 地域支援の実践 ・地域包括支援・重層的支援～分野や領域を超えた課題への対応、地域支援の実践 *テキスト②第1章p.45-68 ・非常時や災害時における対応 *テキスト②第1章p.69-90 第10回 ソーシャルワークにおける社会資源の活用・調整・開発 *テキスト②p.152-188 第11回 ソーシャルアクション *テキスト①p.318-337 第12回 ソーシャル・マーケティング *テキスト②p.301-315 第13回 事例の分析・検討・研究、プレゼンテーション、リサーチ *テキスト②p.222-250、p.288-300 第14回 利用者の主体性を引き出す支援と当事者研究 *テキスト①p.275-277 第15回 共生社会とソーシャルワーク 科目修得試験			
スクーリングでの学修			
1回目:ジェネラリストソーシャルワークの理論と方法について学習する。 2回目:社会資源の活用・調整と開発、ソーシャルアクションなどの方法・技法について学習する。			
テキスト			
①一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集(2021)『最新社会福祉士養成講座・精神保健福祉士養成講座12・ソーシャルワークの理論と方法[共通科目]』中央法規 ISBN-13:978-4805882429 ②一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集(2021)『最新社会福祉士養成講座・精神保健福祉士養成講座6・ソーシャルワークの理論と方法[社会専門]』中央法規 ISBN-13:978-4805882498			
参考書・参考資料等			
①木下大生 他(2019)『ソーシャルアクション!あなたが社会を変えよう!:はじめての一步を踏み出すための入門書』ミネルヴァ書房 ISBN-13:978-4623086061 ②坂本いづみ他著(2021)『脱「いい子」のソーシャルワーク——反抑圧的な実践と理論』現代書館 ISBN-13:978-4768435823 ③西智弘 他(2020)『社会的処方:孤立という病を地域のつながりで治す方法』学芸出版社 ISBN-13:978-4761527310			
学生に対する評価			
レポート評価(30%)、スクーリング評価(40%)、科目修得試験(30%)			